

## 山下塾 第4弾

山下 輝男

### 第6回 我が国のテロ対策の現状と課題

第6回 講座

始めに

第6回以降においては、小生が重要と考える各種の事態に応ずるテロ対策を見てみます。今回は、NBCRテロについてです。

#### 1 NBCRテロ対策

地下鉄サリン事件等オウム真理教によるテロ事件から18年が経ち、段々と風化しつつあるのではないかと危惧しています。特に北朝鮮はBC兵器を多数保有していると見積もられておりますし、シリアでは現実に化学兵器が使用されたことが国連報告で明らかになったばかりです。貧者の核兵器と云われるBC兵器の怖さを認識して万全の対策をとる必要がありますね。

現在行われている対策はスライドの通りです。

### NBCR対策



- 1 NBCR関連物質の管理体制強化  
(病原微生物等、化学剤等、核物質)  
天然痘テロ対策(情報、ワクチン、監視等)
- 2 不審郵便警戒、
- 3 水道施設の警備等  
水源監視の強化、浄水場、配水池等の水道施設の警備の強化、防護対策の確立、バイオアッセイ等による水質管理、来訪者、施設出入業者の管理の徹底
- 3 国内法制、輸(出)入管理、登録制度、爆発物原料管理等

対処力の強化等も種々図られており、その概要は以下のスライドの通りです。

## NBCR対策(2)



対処力強化

①対処能力強化

関係機関の部隊増強、検知・防護機材等、訓練等

②警察:

- ・NBCテロ対応専門部隊(9部隊、200人)
- ・NBCテロ対策班(その他の県警)
- ・警察署レベル初動対処資機材



## NBCR対策(3)



③消防:出動体制の強化

・緊急消防援助隊登録数増強

(H25・4月末4594隊、うち特殊災害対応部隊は  
276隊)

・特別高度救助隊の創設

(東京 & 政令指定都市 5名以上、特殊災害対応  
車1台装備)

④自衛隊:化学防護隊の待機、医官、  
ワクチンの備蓄

⑤海保:衛生当局との連絡体制

⑥関係機関の合同訓練



## 2 核セキュリティ 核の脅威

核セキュリティという言葉は、9.11米国同時多発以後に使用され始めました。では具体的に核の脅威とは何でしょうか？

## 核セキュリティ(1)



1 核セキュリティとの文言:

9.11後に使用され始めた

2 脅威:①核兵器の盗取、②核物質盗取し核爆  
発装置製造、③放射性物質飛散爆弾製造  
④原発や核物質の輸送等の妨害破壊

3 核テロ防止条約採択(2005年国連総会)

4 安保理決議\* 厳格な輸出管理制度

5 核サミット等への参加

6 日本の原発テロ対策のレベルの国際評価

23/32(先進国では最下位)

大量の使用済み核燃料の保管(輸送)が脆弱

\* 米国の外交公電:日本の原発テロ対策お粗末とも

## 3 福島原発事故で露呈した原発の脆弱性

3. 1 1 東日本大震災では東京電力福島第一原発の事故が大問題になり、未だに汚染水問題などで、終息には至っていませんが、テロという観点からも今般の福島原発事故は重大な問題点を孕んでおります。それらはスライドの通りです。原発を破壊すれば極めて重大な事態を引き起こすことを実際に証明したのです。原発テロの有効性という不謹慎ですが、世界のテロリストは原発に注目しているのではないのでしょうか？

## 核セキュリティ(2)



福島第一原発事故で露呈した原発の脆弱性

- ①原発テロの有効性の実証
- ②原発の弱点や脆弱性の露呈  
制御系 電源等
- ③機微情報の漏洩  
原発に関わる安全確保上の重要な情報  
⇔報道の自由や知る権利
- ④内部脅威対策  
所在不明の作業員1,300人  
信頼性確認制度

- 4 最近の核テロに関する動向を見てみましょう。  
如何に原発が脆弱か、慄然とされるのではないのでしょうか？

## 核セキュリティ(3)



最近の原発関連事案

- ①2013/7/15: 仏南部の原発  
グリーンピース活動家数十人侵入横断幕掲示
- ②2012/7/27: 米国テネシー州オークリッジ  
82歳の修道女等3名 ウラン貯蔵施設まで侵入  
最新鋭の警備システムを破っての侵入
- ③2012年 放射性物質の不法所持や密売17件  
盗難・紛失24件 (IAEA)
- ④2010/8/24: 旧ソ連 モルドバ共和国  
兵器級ウランの密売グループ摘発

- 5 原発テロ対策の現状

我が国が行っている原発テロ対策の概要はスライドの通りです。この対策だけで果たして十分でしょうか？対策の実効性はあるのでしょうか。後程検証したいと思います。

## 核セキュリティ(4)



原発テロ対策の現状

- ①警察・海保による陸・海からの24時間監視  
(警察: 警察官の常駐(詰所)(規模不明)  
機動隊に銃器対策部隊  
原子力関連施設警戒隊(福井県警は専従2コpt)  
H24警察官増員、特殊警備対策官新設等)
- ②事業者による防護措置
- ③関係省庁: テロの未然防止対策
- ④NBC関連物質の管理体制の強化
- ⑤内部脅威対策の強化: ツーマンルール等

日本の原発は安全なのでしょう？細部については公表等されておりませんが、推測の域を出ませんが、スライドのように考えられます。事例に示しておりますが、原発への武力攻撃等はないと断言できません。ゲリラが使用するような小型ミサイルには抗堪性があると思われませんが・・・

## 核セキュリティ(5)



原発への武力攻撃への対処

- ①日本の原発の設計基準に武力攻撃対処なし
- ②原子炉本体(圧力容器&格納容器)(厚さや鉄筋)  
小型ミサイル等への抗堪性 ○  
民間機や戦闘機の衝突シミュレーション結果は ○？  
長距離ミサイル △or×(簡単には核爆発はしないのでは)
- ③核ミサイルによる誘爆の可能性は △or×
- ④外部電源や使用済み核燃料等は極めて脆弱

原子炉等攻撃事例

- ①1981/6/7:イラクのオシクラ原子炉をイスラエルが攻撃  
(その後米軍が、湾岸戦争時に徹底的に破壊)
- ②1987/11:イラクがイランの建設中の原子炉攻撃
- ③2007/9:イスラエルがシリアの建設中の原子炉を
- ④2010年にも攻撃、それ以降も攻撃との憶測度々

## 7 バイオテロ対策

生物兵器は、所謂感染症なのか、それともテロなのかの判断も難しく、原因特定に時間を要し、その間に感染が拡大する危険性があります。特に注意すべき病原体等には炭疽菌や天然痘菌等があります。絶滅されたとされている天然痘テロも怖いですね。水道施設の警備については、前のスライドで述べたとおりです。バイオテロ対策等の概要はスライドの通りです。

## バイオテロ対策



- 1 特に注意すべき病原体等  
炭疽症、天然痘、ペスト、ポツリヌス症
- 2 天然痘テロ  
ワクチン未接種者約4000万、根本的治療法無  
死亡率30%、人から人への飛沫感染  
(ワクチン保有量僅少)
- 3 対策  
①保健医療体制の強化(現状:日本版CDC75ヶ所、400人)  
②関係機関の連携等強化  
③警戒・監視体制の強化(感染症サーベイランス)  
④対処力強化(既述)  
⑤情報提供

## バイオテロ(参考)



- 1 特徴  
①テロと自然流行との区別困難  
②確定診断遅れの可能性  
③画定診断時点では既に大量の患者発生  
④二次感染の危険性(救急、医療従事者等)
- 2 テロ手段としての有効性  
①安価 ②種々の搬送手段 ③攻撃の秘匿性  
④感染による被害拡大 ⑤人為的か自然かの判定困難 ⑥心理効果大
- 3 その他  
人の健康被害だけではなく農業テロの危険性指摘も

以上で第6回講座を終了します。  
次回は、サイバー攻撃・テロについて説明します。

## お勧め記事：[防衛駐在官と危機管理](#)

キーワード▶[アルジェリア人質拘束事件](#)・[サイバー攻撃](#)・[テロ](#)・[テロ対策](#)・[地下鉄サリン事件](#)

いいね！ 0

[INDEXへ戻る](#)

次の記事 [山下塾第4弾 第7回 我が国のテロ対策の現状と課題](#)

前の記事 [山下塾第4弾 第5回 我が国のテロ対策の現状と課題](#)

[ページの先頭へ](#)

関連サイト

[防衛省](#)

[統合幕僚監部](#)

[陸上自衛隊](#)

[海上自衛隊](#)

[航空自衛隊](#)